

第4研究班

豪雪地帯における高齢者の居宅での保健医療福祉サービスの効果的提供

研究班代表者 中島紀恵子
新潟県立看護大学（基礎看護学）

A Research on Effective Health and Social Support for the Elderly People
Living in the Heavy Snowfall Areas of Niigata Prefecture

Kieko Nakajima
Niigata College of Nursing (Fundamentals of Nursing)

研究班の概況

本研究班の目的は、豪雪地帯に暮らす高齢者の生活機能に焦点をあて高齢者の生産的能力を支援する介護予防対策について提案すること、職種の違うサービス提供者が連携をとり在宅高齢者に効率的サービスを提供すること、である。

研究チームをA、Bの2チームに分け、Aチームは後期高齢者を対象に調査票を用いた構成的面接法により個別に調査を実施した。用いた指標は、老研式活動能力指標、転倒アセスメント、体力スケール、老人用うつスケール短縮版である。Bチームは、身近なコミュニケーションツールであるデジタルカメラ付き携帯電話を利用した簡易な在宅ケア連携システムの構築を試行した。

平成15年度は初年度であり、その成果について中間報告する。

(1) 中島グループ

研究テーマ：豪雪地方に暮らす後期高齢者の生涯と健康の実態（中間報告）

研究代表者：中島紀恵子，共同研究者：野地有子，朝倉京子，飯吉令枝，大友康博，
籠 玲子，唐澤千登勢，北川公子，小林恵子，齋藤智子，佐々木美佐子，
田中キミ子，中川 泉，中野正春，橋本明浩，平澤則子

(2) 吉山グループ

研究テーマ：ITを活用した継続医療・看護ケア（ヘルスケア）の有効・効率的なプランニング
の研究（中間報告）

研究代表者：吉山直樹，共同研究者：加藤光寶，深澤佳代子，加固正子，
橋本明浩，大友康博，服部 伸，杉田 玄